



はいのたね



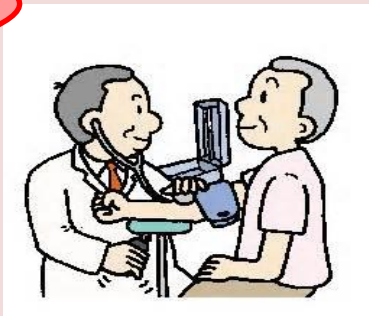
健康診断を受けましょう

4月に入り、暖かな春の日ざしがなにより嬉しい季節になりました。新年度が始まり、心機一転された方も多いのではないのでしょうか。

さて、皆様は健康診断を定期的に受けられていますか？職場等で毎年受けられている方も多数いらっしゃると思いますが、なかには『自分は健康だから大丈夫』と、どこの医療機関へもかかられず、健康診断を受けていない方がいらっしゃるのではないのでしょうか。大きな病気をされる方の多くは『まさか自分がこんな病気になるとは思わなかった』と話されます。当院では定期健診・特定健診等の健康診断を実施しています。その他、肺癌検診・結核検診・胃癌検診（胃カメラ）・大腸癌検診・肝炎ウイルス検診・骨粗鬆症検診も実施しています。



また、当院は迅速な医療提供を考えており、幾日も検査日をお待たせしないように心掛けています。健康診断は自分の健康維持の為に必要な手がかりとなります。『自分は大丈夫』『病院へ行くのは面倒だ』と考えず、毎年受ける事をお勧めします。また、忘れないように毎年誕生日には健康チェックをする習慣も良いと思います。健康診断をどのように受ければ良いのか分からずお困りの方は、気兼ねなく受付へお問い合わせ下さい。自分の健康は自分で守りましょう。



イエローグリーンリボンをご存知ですか？



このリボンは「たばこの煙を吸いたくない」という気持ちをさりげなく周りの人に伝える為のものです。もしこのリボンを見かけたら、たばこを近くで吸わないで下さい。そして受動喫煙の事を考えてみて下さい。受動喫煙防止はあなたも周りにいる大切な人も守ります。

そして喫煙をされている方は、できる限り禁煙をお勧めします。当院では禁煙外来を行っています。御希望の方はいつでも気軽にスタッフまで声をかけください。

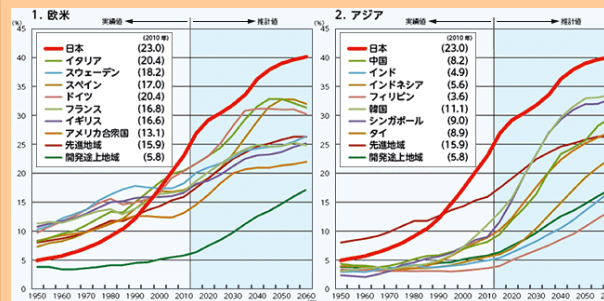


肺炎球菌ワクチンのオススメ

高橋 正彦



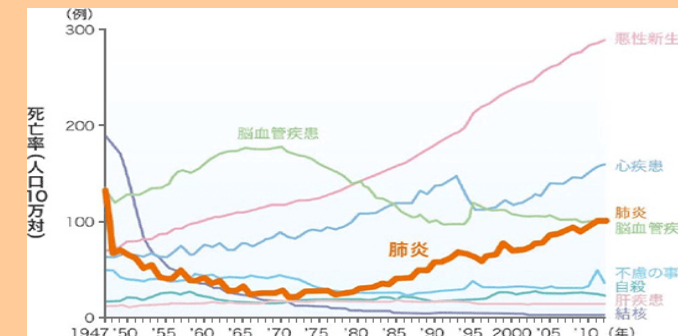
○日本は世界一の高齢化社会



【高齢化率：欧米・アジアの国々との比較】

○肺炎が死因の第3位

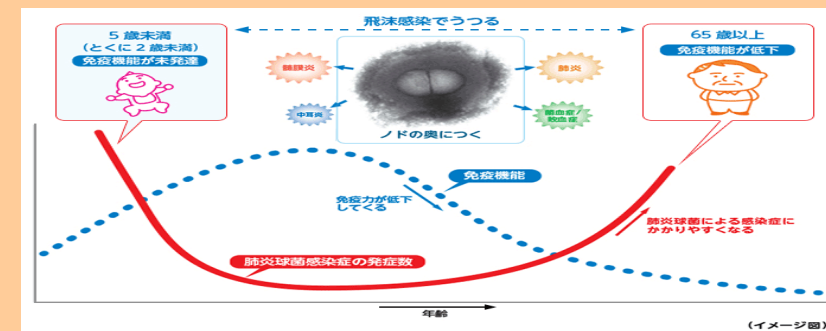
日本で年間約120万人の方が亡くなられています。その死因の第1位は「悪性新生物（がん）」、第2位が「心疾患」、そして「脳血管疾患」を追い越し「肺炎」が第3位になりました。今後も肺炎は増加し続けると考えられます。肺炎が第3位になったのには、高齢化の進行が要因であると考えられています。肺炎死亡者の96.8%が65歳以上の高齢者だからです。



【死因の推移】

○肺炎球菌による肺炎には要注意

肺炎の原因になる病原微生物はたくさんありますが、その中で肺炎球菌が最も重要です。免疫力が低下している高齢者や未発達乳児が肺炎球菌に感染すると重症化しやすく、致命的になります。そのほか、糖尿病・心疾患・呼吸器疾患を持つ方や喫煙者は感染リスクが高まります。

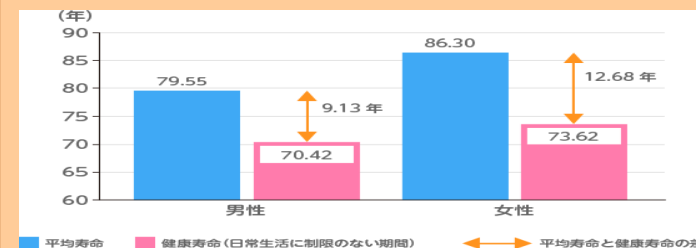


【免疫力と感染しやすさとの関係】

○肺炎球菌ワクチンが有効

肺炎球菌による肺炎を予防し、肺炎による死亡数を減少させるために肺炎球菌ワクチンが有効です。1回接種すると5年間有効です。もちろん肺炎球菌以外の肺炎の予防ができるものではありません。

○健康寿命と平均寿命の差



【平均寿命と健康寿命の差】

「健康寿命」とは、介護等を要さない健康でいられる期間のことです。日本の平均寿命は世界最高水準に達していますが、健康寿命はまだ低く、その差は男性で9.13年、女性で12.68年もあります。肺炎球菌ワクチンも、この差をなくす取り組みの一つです。

当院では肺炎球菌ワクチンの接種を行っています。65歳以上の方・重い持病を持つ方などが対象です。